

2012年5月24日(木) 11:00~12:00  
衆議院第二議員会館地下2階 民主党C会議室

## 原発事故収束対策PT第45回総会

### 次 第

1. 荒井PT座長挨拶

2. 「電力需給のこれまでの検証経緯について」

講師： 植田 和弘 京都大学大学院経済学研究科 教授  
需給検証委員会 委員

3. その他



# 電力需給のこれまでの 検証経緯について

• 原発事故収束PT第43回総会、2012年5月24日  
• 衆議院第二議員会館、植田和弘(京都大学)

ueta@econ.kyoto-u.ac.jp

## なぜ、電力需給検証か？

- 福島原発事故から今夏**原発の全面的停止** (昨夏は原発が16基稼働): ①今夏の節電目標の検討の基礎となる電力需給見通しが必要、②従来の電力需給計画(=電力会社と政府)に対する信頼の喪失
- 「エネルギー・環境会議」と「電力需給に関する検討会合」が相互に連携して**需給検証委員会**(今夏の電力需給の見通しについて**第三者の視点**から検証:客観性、透明性を担保した適切な検証・提言)

# 需給検証委員会

- 【原則1】国民の視点に立ち、**第3者委員**が、客観的に徹底検証する。
- 【原則2】委員会の資料・議事については全て**公開し、透明性の高い検証**を行う。
- 【原則3】電気事業法に基づく報告徴収による情報を活用し、適切な検証を担保する。
- 4月23日(月)から5月12日(土)まで6回
- **電力会社の安定供給責任**と需給検証

## 需給検証委員会の検証結果(全国)

- 供給の検証
- **2011年夏**約1.7億kW:原発16基▼**1177万kW**
- 火力の定検繰延などで**+1068万kW**約1.7億
- 【**火力発電**】**+1272万kW**①定期検査の繰延+172万kW ②長期停止火力の再稼働+105万kW ③火力の増出力+100万kW ④緊急設置電源+231万kW ⑤ガスタービンの夏期出力低下+6万kW ⑥新設火力の試運転+46万kW ⑦自家用発電の活用+64万kW

## 需給検証委員会の全国検証結果(2)

- **【揚水発電】**▼92万kW(夜間の余剰電力、くみあげ能力、貯蔵能力、放水時間の長さ等を精査、節電による需要減で供給量は増加)
- **【水力発電】**▼110万kW(1カ月下位5日の平均出水量を過去30年間の平均値等で評価)
- **【再生可能エネルギー】**+35万kW(太陽光発電の設備容量の最大10%程度を供給力として見込み、風力発電は見込まない)
- **【その他】**▼34万kW

## 需給検証委員会の全国検証結果(3)

- 需要の検証
- 2010年夏約1.8億kW猛暑、節電なし、2012年までの経済上昇で+243万kW 約1.7億kW
- **定着節電**▼1078万kW(2011年節電実績▼2326万kW①気温低下(約1°C程度)▼457万kW ②経済の低迷効果などで▼354万kW:純粋節電分は▼1515万kW程度:定着分検証)
- **需給ギャップ**:0.1%の供給余剰(+25万kW)、3%の予備率を勘案すると▼2.9%

# 関西電力の需給検証結果

- 供給の検証
- 2011年夏約2947万kW:原発▼337万kWに揚水発電減などで▼68万kW約2542万kW
- 【火力発電】+169万kW①定期検査の繰延+0万kW ②長期停止火力の再稼働+45万kW ③火力の増出力+10万kW ④緊急設置電源+2万kW ⑤ガスタービンの夏期出力低下+0万kW ⑥新設火力の試運転+0万kW ⑦自家用発電の活用+34万kW

## 関西電力の需給検証結果(2)

- 【揚水発電】▼226万kW(夜間の余剰電力、くみあげ能力、貯蔵能力、放水時間の長さ等を精査、節電による需要減で供給量は増加)
- 【水力発電】▼19万kW(1カ月下位5日の平均出水量を過去30年間の平均値等で評価)
- 【再生可能エネルギー】+5万kW(太陽光発電の設備容量の最大10%程度を供給力として見込み、風力発電は見込まない)
- 【その他】+3万kW

# 関西電力の需給検証結果(3)

- 需要の検証
- 2010年夏約3095万kW猛暑、節電なし、2012年までの経済上昇で+17万kW約3015万kW
- 定着節電▼117万kW(2011年節電実績▼348万kW①気温低下(約1°C程度)▼154万kW ②経済の低迷効果などで▼4万kW : 純粹節電分は▼190万kW 程度: 定着分検証)
- 需給ギャップ: 14.9%の不足(▼445万kW)、3%の予備率を勘案すると▼17.9%

## 検証委員会が提案・要請した対策

- 需給が厳しい管内だけでなく全国レベルでの節電の取組が重要
- 朝方・夜間の節電も、揚水発電の活用に効果
- 当面は5%程度の予備率確保、2週間前から
- 構造的な需給ギャップの解消に向け、予算の重点投入、制度改革の実施
- 新たなピークカット対策、今夏に向け工程表
- 燃料費上昇、電気料金値上げリスク、回避へ

### (3) 果敢検証給需のた電西関

#### ・ 検証の要需

- ・ 2010、10の電需、暑熱WKV2803総夏年0105
- WKV2103総WKV2711上昇上総率のつま年

#### ・ ▲ 蘇美電需年1102) WKV2711 ▲ 電需減安

7421 ▲ (夏野C1総) 下丹量長①WKV843

稼働: WKV4▲ウツは果敢数母の総⑤ WK

( 検証分減安: 夏野WKV091 ▲お台電需

、(WKV244 ▲) 足不の09.41: ていマ中給需

09.71 ▲ウツも案構が率備平の0%

### 業校オシ請要・案野が会員委証検

- ・ のクパハム国全くおウナシ内管ハシ類は給需  
要重は総組の電需

果敢に用活の電発火暑、中電需の間夜・大時

はの前間野、採野率前平の夏野0%お面岸

の夏平、お向に能野のていマ中給需は由故弊

蘇美の革好刻時、入野点重

表野工お向に夏今、業校オシオアトオア

へ概回、ガスに上直金採長電、具上費採燃